

プレゼンスサービス

- プレゼンスサービスの前提条件 (1ページ)
- プレゼンスサービスの制限 (1ページ)
- プレゼンスサービスに関する情報 (1ページ)
- プレゼンスサービスを構成する (6ページ)
- プレゼンスサービスの設定例 (22ページ)
- プレゼンスサービスの機能情報 (25ページ)

プレゼンスサービスの前提条件

• Cisco Unified CME 4.1 以降のバージョン。

プレゼンスサービスの制限

- ビジー ランプ フィールド (BLF) 通知などのプレゼンス機能は SIP トランクに対してのみ サポートされており、これらの機能は H.323 トランクではサポートされていません。
- プレゼンスを使用するには、SIP 電話機にディレクトリ番号を設定する必要があります (dn キーワードを number コマンドで使用)。直通回線番号はサポートされていません。

プレゼンスサービスに関する情報

プレゼンスサービス

RFC 2778 および RFC 2779 で定義されているプレゼンスサービスは、プレゼンスエンティティ (プレゼンティティ)と呼ばれるソースからウォッチャーと呼ばれる関係者にプレゼンス情報を 検索、取得、配布するシステムです。 SIP WAN 接続を使用して Cisco Unified CME システムで プレゼンスを設定すると、電話機のユーザ、つまりウォッチャは、ディレクトリ番号 (プレゼンティティ) の別のユーザのリアルタイム ステータスを監視できます。 プレゼンスにより、

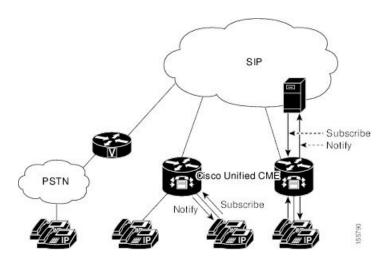
発信者はダイヤルする前に、着信側が対応可能かどうかを知ることができます。 たとえば、ディレクトリアプリケーションではユーザーがビジー状態であることが示され、発信者がビジーな相手に連絡を取ろうとする時間を節約でき、不便さを軽減できます。

Presence は SIP SUBSCRIBE および NOTIFY メソッドを使用して、ユーザとアプリケーションが Cisco Unified CME システム内の電話機の回線ステータスの変更をサブスクライブできるようにします。電話はウォッチャーとして機能し、プレゼンティティは電話のディレクトリ番号によって識別されます。 ウォッチャーはプレゼンス要求 (SUBSCRIBE メッセージ) を開始して、プレゼンティティの回線ステータスを取得します。 Cisco Unified CME はプレゼンティティのステータスで応答します。プレゼンティティのステータスが変化するたびに、このプレゼンティティのすべてのウォッチャーに通知メッセージが送信されます。 SIP 電話機とトランクでは SIP メッセージを使用し、SCCP 電話機では SCCP メッセージのプレゼンス プリミティブを使用します。

プレゼンスにより、短縮ダイヤルボタンのビジーランプフィールド(BLF)通知機能と、不在着信、発信通話、受信通話のディレクトリ通話リストがサポートされます。 BLF スピード ダイヤル機能と BLF コール リスト機能をサポートする SIP および SCCP 電話機は、内部および外部ディレクトリ番号のステータス変更通知をサブスクライブできます。

図 31-1 は、内部および外部ディレクトリ番号の BLF 通知をサポートする Cisco Unified CME システムを示しています。 ウォッチャーとプレゼンティティの両方が Cisco Unified CME ルータの内部にない場合、サブスクライブ メッセージはプレゼンス プロキシ サーバによって処理されます。

図 1: プレゼンスを使用した BLF 通知



次の回線状態は、電話機の BLF インジケーターを通じて表示されます。

- 回線はアイドル状態です この回線が使用されていないときに表示されます。
- •回線は使用中です:回線が呼び出し中状態にあるときや、ユーザーが回線を使用している ときに表示されます。この回線が新しい通話を受け入れられるかどうかにかかわらず表示 されます。
- BLF インジケータ不明 電話機が登録されていないか、この回線を監視できません。

Cisco Unified CME は、内部回線(SIP と SCCP の両方)のプレゼンス エージェントとして、また SIP トランクを介して接続された外部ウォッチャーのプレゼンス サーバとして機能し、次の機能を提供します。

- 内部回線から内部回線への SUBSCRIBE 要求を処理します。 ステータスの変更を内部サブスクライバーに通知します。
- 内部 SCCP および SIP 回線の SIP トランクからの着信 SUBSCRIBE 要求を処理します。 ステータスの変更を外部サブスクライバーに通知します。
- 内部回線に代わって、外部プレゼンティティに SUBSCRIBE 要求を送信します。 ステータ ス応答を内部回線に中継します。

SIPトランクからのプレゼンスサブスクリプション要求を認証および承認できます。 ローカルサブスクリプション要求を認証できません。

設定情報については、「プレゼンスサービスの設定方法」を参照してください。

DnD、コールパーク、ページング、会議機能を備えたEphone-DNのBLFモニタリング

Cisco Unified CME 7.1 より前のバージョンでは、BLF モニタリングでは、モニタリング対象のディレクトリ番号が DND 対応になったときにステータスの変更が通知されず、コールパークスロット、ページング番号、またはアドホック会議番号やミートミー会議番号として設定されているディレクトリ番号のビジーランプフィールド(BLF)インジケータには、不明な回線ステータスのみが表示されます。

Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、コールパークスロット、ページング番号、およびアドホックまたはミートミー会議番号として設定された監視対象の ephone-dn のアイドル、使用中、および不明の BLF ステータス インジケータがサポートされています。 これにより、管理者 (ウォッチャー) はコールパーク スロットを監視して、コールがパークされてまだ取得されていないかどうか、どのページング番号がページングに使用できるか、またはどの会議番号が会議に使用できるかを確認できます。

パーク スロットとして設定された ephone-dn はどの電話機にも登録されていません。 Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、監視対象のパーク スロットがアイドル状態の場合、ウォッチャーの BLF ステータスはアイドル状態と表示されます。 監視対象のパーク スロットにパークされた通話がある場合、BLF ステータスは使用中を示します。 監視対象のパークスロットが allow watch コマンドによる BLF 監視に対して有効になっていない場合、不明ステータスの BLF インジケータがウォッチャーに表示されます。

ページングまたは会議用に設定された ephone-dn も、どの電話にも登録されていません。 コール パーク スロットと同様に、監視対象のページング番号とアドホックまたはミートミー会議番号に対して、アイドル、使用中、不明の BLF ステータスのインジケータが表示されます。

Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、DnD 状態の ephone-dn の Do Not Disturb (DnD) BLF ステータス インジケータがサポートされています。 ユーザが SCCP 電話機の DnD ソフトキーを押すと、電話機に割り当てられているすべてのディレクトリ番号でDnD が有効になり、

電話機の任意のディレクトリ番号へのすべての通話に対してサイレント リングが再生されます。 監視対象の ephone-dn が DnD 対応になると、ウォッチャー上の対応する BLF スピード ダイヤル ランプ(ある場合)が、アイドル状態と使用中の BLF ステータスの両方で DnD アイコンとともに赤色で点灯します。

監視対象の ephone-dn が次の場合、BLF ステータス通知が発生します。

- •1台のSCCP電話機のみのプライマリディレクトリ番号
- 共有されていない電話番号
- ・共有されたディレクトリ番号とそれに関連付けられたすべての電話機は DnD 機能が有効です

これらの機能強化をサポートするために新しい構成は必要ありません。 ディレクトリ番号の BLF モニタリングを設定する方法については、「スピードダイヤルとコールリストの BLF モニタリング」を参照してください。

表 31-1 では、Cisco Unified CME で設定できるさまざまな BLF モニタリング機能を比較します。

表 1: ディレクトリ番号 BLF モニタリングの機能比較

モニタモード(ボタン「m」)	ウォッチモード(ボタン 「 w 」)	BLF モニタリング
基本操作		1
SCCP 電話のみ。	SCCP 電話のみ。	SCCP および SIP 電話。
単一の ephone-dn インスタンスを監視します。 同じ内線番号を持つ ephone-dn が複数ある場合(オーバーレイ内など)、このモードでは1つの ephone-dn (button コマンドで m キーワードを使用して指定)のみを監視します。 電話のDND状態は示されません。	指定されたephone-dnがプライマリ内線である電話機のすべてのアクティビティを監視します。 (内線番号がボタン1またはauto-lineコマンドで指定されたボタンに表示される場合、ephone-dnは電話機の「プライマリ」になります。) Ephone-dnは共有できますが、他の電話機のプライマリ内線として使用することはできません。 電話のDND状態を示します。	同じ (プライマリ) 内線番号を持つすべての ephone-dn インスタンスを監視します。 監視対象の内線のいずれかのインスタンスが使用中の場合、BLFランプが点灯します。 電話の DND 状態を示します。 (注) BLF モニタリングは、プレゼンスイティ)が SCCP 電話やしたがって、電話ののみサポートを引きます。 SIP 電話で DND を有効にすると、LED は点灯したがって、電話のユーザまたは管理者 (ウォッチャー)には通知されません。

モニタモード(ボタン「 m 」)	ウォッチモード(ボタン 「 w 」)	BLFモニタリング
共有電話		
DNが複数の電話機で共有されている場合、どの電話機がephone-dnを使用しているかを区別できません。	ephone-dnが複数の電話機間で 共有される場合向けに設計されています。 各電話機には一意のプライマ リ ephone-dn が必要です。	DNが複数の電話機で共有されている場合、どの電話機がephone-dnを使用しているかを区別できません。
	特定のephone-dnが使用中であることを示すのではなく、特定の電話機が使用中であることを示すために使用されます(ボタン m)。	
ローカル vs. リモート		
ローカル Cisco Unified CME システム上の DN のみを監視します。	ローカルの Cisco Unified CME システムにある DN のみを監 視できます。	SIP サブスクライブおよび通知 を使用して、リモート Cisco Unified CME 上の内線番号を監 視できます。 ローカルとリ モートを同時に監視すること はできません。

デバイスベースの BLF モニタリング

デバイスベースの BLF モニタリングは、監視対象の電話機 (プレゼンティティ) のステータス に関する情報を電話機のユーザまたは管理者 (ウォッチャー) に提供します。

Cisco Unified CME 4.1 以降のバージョンでは、スピード ダイヤル ボタン、通話履歴、および ディレクトリ リストに関連付けられたディレクトリ番号の BLF モニタリングがサポートされ ています。 Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、デバイスベースの BLF モニタリングがサポートされており、ウォッチャーは電話の回線だけでなく、電話機全体のステータスを モニタリングできます。

BLF ステータスの監視対象の電話機を識別するために、Cisco Unified CME は、最初のボタンに割り当てられた監視対象のディレクトリ番号を持つ電話機、またはauto-line コマンドによってボタンが選択されたディレクトリ番号を選択します(SCCPのみ)。複数の電話機がプライマリディレクトリ番号として同じ番号を使用している場合、最も低い電話タグを持つ電話機のBLF ステータスが監視されます。

Extension Mobility 電話の場合、ユーザ プロファイルで設定される最初の番号は、Extension Mobility 電話のプライマリディレクトリ番号を示します。 Extension Mobility 電話が監視されている場合、Extension Mobility ユーザがログインまたはログアウトしたとき、アイドル状態またはビジー状態のときに、対応する電話の BLF ステータスがウォッチャーに送信されます。

監視対象のSCCP電話機の共有ディレクトリ番号がビジー状態であり、監視対象のデバイスが オンフックの場合、監視対象の電話機はアイドル状態であると見なされます。

監視対象の電話機がページングを受信すると、ページングディレクトリ番号も監視されている場合、ウォッチャー上でページングディレクトリ番号のBLFステータスがビジーと表示されます。

コール パーク スロットとして設定されたディレクトリ番号でデバイス ベースのモニタリング が有効になっていて、このパーク スロットにパークされたコールがある場合、デバイス ベースの BLF ステータスはビジーを示します。

DnD ソフトキーが押されると、電話機に関連付けられたすべてのディレクトリ番号が DnD 状態になります。 監視対象の電話が DnD 対応になった場合、監視者に DnD ステータスの変更が通知されます。

設定情報については、「スピードダイヤルとコールリストのBLF モニタリング」または「SIP: スピードダイヤルとコールリストのBLF モニタリングの有効化」を参照してください。

BLF スピードダイヤルの電話ユーザ インターフェース

Cisco Unified CME 8.5 以降のバージョンでは、Extension Mobility(EM) ユーザーがサービス機能ボタンを使用して電話機上で直接電話番号ベースのビジーランプフィールド(BLF)短縮ダイヤルを設定することができます。 BLF スピードダイヤル設定は、サービスボタンで利用できるメニューを使用して、電話機で追加または修正(変更または削除)されます。 電話のユーザーインターフェイスを通じて行われた BLF スピードダイヤル設定の変更は、Extension Mobilityのユーザープロファイルに適用されます。 Ephone または ephone-template モードで **blf-speed-dial** コマンドを使用して、SCCP 電話機の BLF スピード ダイヤル メニューを設定できます。 詳細については、「BLF スピード ダイヤル メニューの有効化」を参照してください。

電話機ユーザーが電話機のユーザーインターフェイスを使用して BLF スピードダイヤルを設定する方法については、Cisco Unified CME の Cisco Unified IP Phone ドキュメントを参照してください。

EM 機能のない電話機の場合、BLF スピード ダイヤル サービスはサービス URL ページで利用できます。 Extension Mobility のない電話機では、 **no phone-ui blf-speed-dial** コマンドを使用して BLF スピード ダイヤル機能を無効にすることができます。

プレゼンスサービスを構成する

内部回線のプレゼンスを有効にする

ルータが内部ウォッチャーおよびSIPトランクからの着信プレゼンス要求を受け入れるようにするには、次の手順を実行します。



(注)

コマンド **presence call-list** はオプションの設定であり、Unified CME でプレゼンスを有効にするために必須ではありません。電話機がディレクトリ番号またはコールリストの回線状態(不在着信、発信着信、着信コールリストなど)を監視できるようにするには、**プpresence call-list** を設定します。



制約事項

- プレゼンティティはディレクトリ番号によってのみ識別できます。
- •BLF モニタリングは回線ステータスのみを表示します。
- インスタント メッセージングはサポートされていません。

手順の概要

- 1. 有効化
- 2. configure terminal
- 3. sip-ua
- 4. プレゼンスの有効化
- 5. exit
- 6. プレゼンス
- 7. 最大サブスクリプション数
- 8. プレゼンス通話リスト
- 9. 終わり

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	有効化	特権 EXEC モードを有効にします。
	例: Router> enable	プロンプトが表示されたらパスワードを入力してください。
ステップ2	configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードに入り
	例:	ます。
	Router# configure terminal	
ステップ3	sip-ua	ユーザ エージェントを設定するために、SIP ユーザ
	例:	エージェント設定モードに入ります。
	Router(config)# sip-ua	

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ4	プレゼンスの有効化 例: Router(config-sip-ua)# presence enable	ルーターがプレゼンス要求の受信を受け入れること を許可します。
ステップ5	exit 例: Router(config-sip-ua)# exit	SIP ユーザエージェント設定モードを終了します。
ステップ6	プレゼンス 例: Router(config)# presence	プレゼンスサービスを有効にして、プレゼンス設定 モードを開始します。
ステップ 7	最大サブスクリプション数例: Router(config-presence)# max-subscription 128	(オプション) 許可される同時監視セッションの最大数を設定します。 ・number:最大監視セッション数。範囲:100から、ルータプラットフォームでサポートされるディレクトリ番号の最大数まで。範囲を表示するには?と入力してください。デフォルト:100。
ステップ 8	プレゼンス通話リスト 例: Router(config-presence)# presence call-list	(オプション) ローカルに登録されているすべての電話機のコールリストとディレクトリ内のディレクトリ番号に対するBLFモニタリングをグローバルに有効にします。 ・allow watch コマンドを使用して監視を有効にしたディレクトリ番号にのみ、BLFステータスインジケータが表示されます。 ・このコマンドは、BLFコールリスト機能をグローバルに有効にします。特定の電話機でこの機能を有効にするには、「スピードダイヤルと通話リストのBLFモニタリング」を参照してください。
ステップ9	終わり 例: Router(config-presence)# end	特権 EXEC モードに移行します。

ディレクトリ番号を監視できるようにする

ディレクトリ番号に関連付けられた回線を、Cisco Unified CMEルータに登録された電話機で監視できるようにするには、次の手順を実行します。回線はプレゼンティティとして有効化されており、電話機はBLFコールリストおよびBLFスピードダイヤル機能を通じて回線ステータスをサブスクライブできます。回線を監視できる電話機の種類に制限はありません。サポートされている音声ゲートウェイ上の任意のIP電話機またはアナログ電話機の回線をプレゼンティティとして使用できます。



制約事項

- •プレゼンティティはディレクトリ番号のみで識別されます。
- BLF モニタリングは回線ステータスのみを表示します。

手順の概要

- 1. 有効化
- 2. configure terminal
- **3. ephone-dn***dn-tag* [デュアルライン] または 音声レジスタ **dn***dn-tag*
- 4. numbernumber
- 5. 監視を許可する
- 6. 終わり

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	有効化	特権 EXEC モードを有効にします。
	例: Router> enable	プロンプトが表示されたらパスワードを入力してください。
ステップ2	configure terminal 例: Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードに入り ます。
ステップ3	ephone-dndn-tag [デュアルライン] または 音声レジスタ dndn-tag 例: Router(config) # ephone-dn 1 または Router(config) # voice register dn 1	 IP 電話、インターコム回線、音声ポート、またはメッセージ待機インジケータ (MWI) のディレクトリ番号を定義するための設定モードに入ります。 • dn-tag:設定タスク中に特定のディレクトリ番号を識別します。範囲は1から、ルータプラットフォームで許可されるディレクトリ番号の最

	コマンドまたはアクション	目的
		大数、または max-dn コマンドで定義された最大数までです。 範囲を表示するには ? と入力してください。
ステップ4	numbernumber 例: Router(config-ephone-dn)# number 3001 または Router(config-register-dn)# number 3001	Cisco Unified CME 内の IP 電話に割り当てられるディレクトリ番号に電話番号を関連付けます。 • number: E.164 電話番号を表す最大 16 文字の文字列。
ステップ5	監視を許可する 例: Router(config-ephone-dn)# allow watch または Router(config-register-dn)# allow watch	このディレクトリ番号に関連付けられた電話回線を プレゼンスサービスのウォッチャーが監視できるよ うにします。 ・このコマンドは、ephone-dn テンプレート設定 モードで設定し、1台以上の電話機に適用する こともできます。 ephone-dn 設定は、ephone-dn テンプレート設定よりも優先されます。
ステップ 6	終わり 例: Router(config-ephone-dn)# end または Router(config-register-dn)# end	特権 EXEC モードに移行します。

SCCP電話を使用してスピードダイヤルとコールリストのBLFモニタを 有効にする

ウォッチャーは、BLF スピードダイヤル機能と BLF コール リストプレゼンス機能を通じて、内部および外部ディレクトリ番号(プレゼンティティ)に関連付けられた回線の状態を監視できます。 SCCP を使用する IP 電話で BLF 通知機能を有効にするには、次の手順を実行します。



制約事項

- 通話リストのデバイスベースの BLF モニタリングはサポートされていません。
- デバイスベースの BLF スピードダイヤル モニタリングは、リモート ウォッチャーまたは プレゼンティティではサポートされません。

BLF コールリスト

• Cisco Unified IP Phone 7905、7906、7911、7912、7931、7940、7960、または 7985、Cisco Unified IP Phone 拡張モジュール、または Cisco Unified IP Conference Station ではサポートされません。

BLF スピードダイヤル

• Cisco Unified IP Phone 7905、7906、7911、7912、7985、または Cisco Unified IP Conference Stations ではサポートされません。

Cisco Unified IP 電話 7931

• BLF ステータスはモニタ ランプのみで表示され、BLF ステータス アイコンは表示されません。

始める前に

- Cisco Unified CME ルータでプレゼンスが有効になっている必要があります。 「内部回線 のプレゼンスの有効化」を参照してください。
- BLF ステータス通知を提供するには、allow watch コマンドを使用してディレクトリ番号をプレゼンティティとして有効にする必要があります。「ディレクトリ番号の監視を有効にする」を参照してください。ディレクトリ番号を監視できるようにする(9ページ)
- デバイスベースのモニタリングには、Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンが必要です。 監視対象の電話に関連付けられているすべてのディレクトリ番号は、allow watch コマンドを使用して設定する必要があります。そうでない場合、いずれかのディレクトリ番号にこの設定が欠けていると、ウォッチャーに誤ったステータスが報告される可能性があります。

手順の概要

- 1. 有効化
- 2. configure terminal
- **3. ephone***phone-tag*
- **4. ボタン**ボタン番号{区切り文字}*dn-tag*[,*dn-tag*...][ボタン番号{**x**} オーバーレイボタン番号[ボタン番号...]
- **5. blf-speed-dial**タグ番号 ラベル文字列 [デバイス]
- 6. プレゼンス通話リスト
- 7. 終わり

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	有効化	特権 EXEC モードを有効にします。
	例: Router> enable	プロンプトが表示されたらパスワードを入力してください。
ステップ2	configure terminal 例: Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードに入り ます。
ステップ3	ephonephone-tag 例: Router(config)# ephone 1	ephone 設定モードに移行し、SIP 電話機の電話機固有のパラメータを設定します。 ・phone-tag:設定する電話機の一意のシーケンス番号。範囲はバージョンとプラットフォームに依存します。範囲を表示するには、?と入力してください。この引数の上限は、max-ephonesコマンドを使用して変更できます。
ステップ4	ボタンボタン番号{区切り文字}dn-tag[,dn-tag][ボタン番号{x} オーバーレイボタン番号][ボタン番号] 例: Router(config-ephone)# button 1:10 2:11 3b12 4o13,14,15	ボタン番号と回線特性を電話機のディレクトリ番号に関連付けます。 ・button-number: IP 電話の回線ボタンの番号。 ・セパレーター―ボタンに関連付ける特性のタイプを示す1文字。 ・dn-tag: このボタンに表示するephone-dnの一意のシーケンス番号。オーバーレイ回線(区切り文字はoまたはc)の場合、この引数には最大25個のephone-dnタグをカンマで区切って含めることができます。 ・x:オーバーレイロールオーバーボタンを作成する区切り文字。 ・overlay-button-number―このボタンにオーバーフローするオーバーレイボタンの番号。
ステップ5	blf-speed-dial タグ番号 ラベル文字列[デバイス] 例: Router(config-ephone) # blf-speed-dial 3 3001 label sales device	電話機のスピードダイヤル番号に関連付けられた ディレクトリ番号のBLFモニタリングを有効にしま す。

	コマンドまたはアクション	目的
		tag:短縮ダイヤルのインデックスを識別する番号。範囲は1~33です
		• number—短縮ダイヤルする電話番号。
		• string: スピードダイヤル ボタンを識別する英 数字ラベル。 文字列には最大 30 文字を含める ことができます。
		• device—(オプション) 電話ベースの監視を有効 にします。 このキーワードは、Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでサポートされてい ます。
ステップ 6	プレゼンス通話リスト 例: Router(config-ephone)# presence call-list	この電話機の通話リストとディレクトリに表示されるディレクトリ番号のBLFモニタリングを有効にします。 ・ディレクトリ番号を監視するには、allow watch コマンドを有効にする必要があります。
		 この Cisco Unified CME システム内のすべての 電話機のコール リストの BLF モニタリングを 有効にするには、プレゼンスモードでこのコマンドを使用します。内部回線のプレゼンスを有 効にする (6ページ) を参照してください。
ステップ 7	終わり	特権 EXEC モードに移行します。
	例:	
	Router(config-ephone)# end	

例

次の例は、内線番号 2001 および 2003 のディレクトリ番号の監視が許可され、これらの番号の BLF ステータスが電話機 1 に表示されることを示しています。

```
ephone-dn 201
number 2001
allow watch
!
!
ephone-dn 203
number 2003
allow watch
!
!
ephone 1
mac-address 0012.7F54.EDC6
```

blf-speed-dial 2 201 label "sales" device blf-speed-dial 3 203 label "service" device button 1:100 2:101 3b102

次のタスク

Cisco Unified CME で SCCP 電話機のパラメータの変更が完了したら、create cnf-files コマンドを使用して新しい設定プロファイルを生成し、restart コマンドを使用して電話機を再起動します。「SCCP: SCCP 電話機の設定ファイルの生成」 および 「SCCP: restart コマンドの使用」を参照してください。

SIP 電話のスピードダイヤルとコールリストの BLF モニタリングを有効にする

ウォッチャーは、BLF スピードダイヤル機能とBLF コールリストプレゼンス機能を通じて、内部および外部ディレクトリ番号(プレゼンティティ)に関連付けられた回線の状態を監視できます。 SIP 電話で BLF 通知機能を有効にするには、次の手順を実行します。



制約事項

- デバイスベースの BLF スピードダイヤル モニタリングは、リモート ウォッチャーまたは プレゼンティティではサポートされません。
- TCP ベース、デバイス ベースの BLF スピード ダイヤル モニタリングは、Unified CME ではサポートされていません。

BLF コールリスト

• Cisco Unified IP Phone 7905、7906、7911、7912、7931、7940、7960、または 7985、Cisco Unified IP Phone 拡張モジュール、または Cisco Unified IP Conference Station ではサポートされません。

BLF スピードダイヤル

• Cisco Unified IP Phone 7905、7906、7911、7912、7985、または Cisco Unified IP Conference Stations ではサポートされません。

始める前に

- Cisco Unified CME ルータでプレゼンスを有効にする必要があります。 内線のプレゼンス の有効化を参照してください。
- BLF ステータス通知を提供するには、allow watch コマンドを使用してディレクトリ番号をプレゼンティティとして有効にする必要があります。「ディレクトリ番号の監視を有効にする」を参照してください。

- SIP 電話は、音声レジスタプール設定モードで、ディレクトリ番号を使用して設定する必要があります(number コマンドで dn キーワードを使用)。直通回線番号はサポートされていません。
- デバイスベースのモニタリングには、Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンが必要です。 監視対象の電話に関連付けられているすべてのディレクトリ番号は、allow watch コマンドを使用して設定する必要があります。そうでない場合、いずれかのディレクトリ番号にこの設定が欠けていると、ウォッチャーに誤ったステータスが報告される可能性があります。

手順の概要

- 1. 有効化
- 2. configure terminal
- 3. 音声レジスタプールプールタグ
- 4. 番号タグ**dn**dn-tag
- **5. blf-speed-dial**タグ番号 ラベル文字列 [デバイス]
- 6. プレゼンス通話リスト
- **7.** end

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	有効化 例: Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。・プロンプトが表示されたらパスワードを入力してください。
ステップ2	configure terminal 例: Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードに入り ます。
ステップ3	音声レジスタプールプールタグ 例: Router(config)# voice register pool 1	SIP 電話機の電話機固有のパラメータを設定するために、音声レジスタプール設定モードに入ります。 • pool-tag: 設定する SIP 電話の一意のシーケンス番号。範囲はバージョンとプラットフォームに依存します。範囲を表示するには、?と入力してください。この引数の上限は、max-poolコマンドで変更できます。
ステップ4	番号タグ dn dn-tag 例:	SIP 電話にディレクトリ番号を割り当てます。

	コマンドまたはアクション	目的
	Router(config-register-pool) # number 1 dn 2	タグ:複数の number コマンドがある場合の識別子。 範囲は 1 ~ 10 です
		• dn-tag: voice register dn コマンドを使用して定義されたディレクトリ番号タグ。
ステップ5	blf-speed-dial タグ番号 ラベル文字列[デバイス] 例: Router(config-register-pool)# blf-speed-dial 3 3001 label sales device	電話機のスピードダイヤル番号に関連付けられた ディレクトリ番号のBLFモニタリングを有効にしま す。 • tag:スピードダイヤルのインデックスを識別する番号。範囲は1~7です • number:短縮ダイヤルする電話番号。 • string:スピードダイヤル ボタンを識別する英数字ラベル。文字列には最大30文字を含めることができます。 • device—(オプション)電話ベースの監視を有効
		にします。 このキーワードは、Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでサポートされています。
ステップ6	プレゼンス通話リスト 例: Router(config-register-pool)# presence call-list	この電話機の通話リストとディレクトリに表示されるディレクトリ番号のBLFモニタリングを有効にします。
		ディレクトリ番号を監視するには、allow watch コマンドが有効になっている必要があります。
		 この Cisco Unified CME システム内のすべての 電話機のコール リストの BLF モニタリングを 有効にするには、プレゼンスモードでこのコマンドを使用します。内線のプレゼンスの有効化を参照してください。
ステップ 7	end	特権 EXEC モードに移行します。
	例:	
	Router(config-register-pool)# end	

次のタスク

Cisco Unified CME で SIP 電話機のパラメータの変更が完了したら、 create profile コマンドを 使用して新しい設定プロファイルを生成し、 restart コマンドを使用して電話機を再起動しま

す。「SIP: SIP 電話機の構成プロファイルの生成」 および 「SIP: restart コマンドの使用」を参照してください。

BLFスピードダイヤルメニューを有効にする



制約事項

- EM ユーザは、電話のユーザインターフェイス (UI) からログアウト プロファイルを変更 できません。
- Extension Mobility (EM) ユーザは、BLF スピード ダイヤル番号を更新するために EM プロファイルにログインする必要があります。

始める前に

• Cisco Unified CME 8.5 以降のバージョン。

手順の概要

- 1. 有効化
- 2. configure terminal
- 3. ephonephone-tag
- **4. blf-speed-dial** [**インデックス**インデックス番号] [**電話番号**番号] [**ラベル**ラベルテキスト]
- 5. 終わり

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	有効化	特権 EXEC モードを有効にします。
	例: Router> enable	プロンプトが表示されたらパスワードを入力してください。
ステップ2	configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードに入り
	例:	ます。
	Router# configure terminal	
ステップ3	ephonephone-tag	Ephone 設定モードに入ります。
	例: Router(config)# ephone 10	• phone-tag: BLFスピードダイヤル番号を設定する電話機の一意の番号。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ4	blf-speed-dial [インデックス インデックス番号] [電 話番号番号] [ラベル ラベルテキスト]	この電話機にBLFスピードダイヤル番号のエントリを作成します。
	例: Router(config-ephone)#blf-speed-dial 1 2001 label "customer support"	 BLFスピードダイヤルインデックス-設定中にこのエントリを識別するための一意の識別子。 範囲は1~75です。 電話番号-ダイヤルする電話番号または内線番号。
ステップ5	終わり	特権 EXEC モードに戻ります。
	例: Router(config-ephone)# end	

外線を監視するためのプレゼンスの設定

内部ウォッチャがリモート Cisco Unified CME ルータ上の外部ディレクトリ番号を監視できるようにするには、次の手順を実行します。

始める前に

内部回線に対してプレゼンス サービスを有効にする必要があります。 「内部回線のプレゼンスの有効化」を参照してください。

手順の概要

- 1. 有効化
- 2. configure terminal
- 3. プレゼンス
- **4. server***ip*-address
- 5. allow subscribe
- 6. watcher all
- 7. sccp blf-speed-dial retry-intervalsecondslimitnumber
- 8. exit
- 9. 音声レジスタグローバル
- 10. 存在を認証する
- 11. authenticate credential tag location
- **12**. end

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	有効化	特権 EXEC モードを有効にします。
	例: Router> enable	プロンプトが表示されたらパスワードを入力してください。
ステップ 2	configure terminal 例: Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードに入り ます。
ステップ 3	プレゼンス 例: Router(config)# presence	プレゼンス サービスを有効にして、プレゼンス設定モードを開始します。
ステップ4	serverip-address 例: Router(config-presence)# server 10.10.10.1	内部ウォッチャーから外部プレゼンティティにプレゼンス要求を送信するためのプレゼンスサーバのIPアドレスを指定します。
ステップ5	allow subscribe 例: Router(config-presence)# allow subscribe	内部ウォッチャーが外部ディレクトリ番号を監視で きるようにします。
ステップ6	watcher all 例: Router(config-presence)# watcher all	外部ウォッチャーが内部ディレクトリ番号を監視で きるようにします。
- ステップ 1	sccp blf-speed-dial retry-intervalsecondslimitnumber 例: Router(config-presence)# sccp blf-speed-dial retry-interval 90 limit number 15	 (オプション) SCCP を実行している電話機のスピードダイヤル番号の BLF モニタリングの再試行タイムアウトを設定します。 *seconds: 再試行のタイムアウト(秒)。範囲: 60~3600。デフォルト: 60。 *number—再試行の最大回数。範囲: 10~100。デフォルト: 10。
ステップ8	exit 例: Router(config-presence)# exit	プレゼンス設定モードを終了します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ9	音声レジスタグローバル 例: Router(config)# voice register global	音声レジスタ グローバル コンフィギュレーション モードを開始し、Cisco Unified CME 環境でサポー トされているすべての SIP 電話機のグローバル パ ラメータを設定します。
ステップ 10	存在を認証する 例: Router(config-register-global)# authenticate presence	(オプション) リモート プレゼンス サーバからの着信プレゼンス要求の認証を有効にします。
ステップ 11	authenticate credentialtag location 例: Router(config-register-global)# authenticate credential 1 flash:cred1.csv	(オプション)プレゼンス サブスクリプション要求の認証に使用する資格情報ファイルを指定します。 ・tag—プレゼンス認証に使用する資格情報ファイルを識別する番号。 範囲は 1~5 です ・location: URL 形式での資格情報ファイルの名前と場所。有効な保存場所は、TFTP、HTTP、フラッシュメモリです。
ステップ 12	end 例: Router(config-register-global)# end	特権 EXEC モードに移行します。

プレゼンス設定の確認

手順

ステップ1 実行中の設定を表示

このコマンドを使用して構成を確認します。

Router# show running-config

```
!
voice register global
mode cme
source-address 10.1.1.2 port 5060
load 7971 SIP70.8-0-1-118
load 7970 SIP70.8-0-1-11S
load 7961GE SIP41.8-0-1-0DEV
load 7961 SIP41.8-0-1-0DEV
authenticate presence
authenticate credential 1 tftp://172.18.207.15/labtest/cred1.csv
create profile sync 0004550081249644
.
```

```
presence
server 10.1.1.4
sccp blf-speed-dial retry-interval 70 limit 20
presence call-list
max-subscription 128
watcher all
allow subscribe
!
sip-ua
presence enable
```

ステップ2 show presence global

このコマンドを使用して、プレゼンス構成設定を表示します。

Router# show presence global

ステップ 3 show presence subscription [details | presentity telephone-number | subidsubscription-idsummary]

このコマンドを使用して、アクティブなプレゼンスサブスクリプションに関する情報を表示します。

Router# プレゼンスサブスクリプションの概要を表示

Presence Active Subscription Records Summary: 15 subscription							
Watcher	Presentity	SubID Exp	ires Si	bID Status			
6002@10.4.171.60	6005@10.4.171.34	1 3600	0	idle			
6005@10.4.171.81	6002@10.4.171.34	6 3600	0	idle			
6005@10.4.171.81	6003@10.4.171.34	8 3600	0	idle			
6005@10.4.171.81	6002@10.4.171.34	9 3600	0	idle			
6005@10.4.171.81	6003@10.4.171.34	10 3600	0	idle			
6005@10.4.171.81	6001@10.4.171.34	12 3600	0	idle			
6001@10.4.171.61	6003@10.4.171.34	15 3600	0	idle			
6001@10.4.171.61	6002@10.4.171.34	17 3600	0	idle			
6003@10.4.171.59	6003@10.4.171.34	19 3600	0	idle			
6003@10.4.171.59	6002@10.4.171.34	21 3600	0	idle			
6003@10.4.171.59	5001@10.4.171.34	23 3600	24	idle			
6002@10.4.171.60	6003@10.4.171.34	121 3600	0	idle			
6002@10.4.171.60	5002@10.4.171.34	128 3600	129	idle			
6005@10.4.171.81	1001@10.4.171.34	130 3600	131	busy			
6005@10.4.171.81	7005@10.4.171.34	132 3600	133	idle			

プレゼンスサービスのトラブルシューティング

プレゼンスサービスのトラブルシューティングには、次のコマンドを使用できます。

- debug presence { all | asnl | errors | event | info | timer | trace | xml }
- debug ephone blf [mac-addressmac-address]

プレゼンスサービスの設定例

Cisco Unified CME でのプレゼンスの設定例

Router# 実行中の設定を表示

```
Building configuration...
Current configuration: 5465 bytes
version 12.4
service timestamps debug datetime msec
service timestamps log datetime msec
no service password-encryption
hostname CME-3825
boot-start-marker
boot-end-marker
logging buffered 2000000 debugging
enable password lab
no aaa new-model
!
resource policy
no network-clock-participate slot 1
no network-clock-participate slot 2
ip cef
no ip domain lookup
voice-card 1
no dspfarm
voice-card 2
no dspfarm
voice service voip
allow-connections sip to sip
h323
registrar server expires max 240 min 60
voice register global
```

```
mode cme
source-address 11.1.1.2 port 5060
load 7971 SIP70.8-0-1-11S
load 7970 SIP70.8-0-1-11S
load 7961GE SIP41.8-0-1-0DEV
load 7961 SIP41.8-0-1-0DEV
authenticate presence
authenticate credential 1 tftp://172.18.207.15/labtest/cred1.csv
create profile sync 0004550081249644
voice register dn 1
number 2101
allow watch
voice register dn 2
number 2102
allow watch
voice register pool 1
id mac 0015.6247.EF90
type 7971
number 1 dn 1
blf-speed-dial 1 1001 label "1001"
voice register pool 2
id mac 0012.0007.8D82
type 7912
number 1 dn 2
interface GigabitEthernet0/0
description $ETH-LAN$$ETH-SW-LAUNCH$$INTF-INFO-GE 0/0$
ip address 11.1.1.2 255.255.255.0
duplex full
speed 100
media-type rj45
no negotiation auto
interface GigabitEthernet0/1
no ip address
shutdown
duplex auto
speed auto
media-type rj45
negotiation auto
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 11.1.1.1
ip http server
tftp-server flash:Jar41sccp.8-0-0-103dev.sbn
tftp-server flash:cvm41sccp.8-0-0-102dev.sbn
tftp-server flash:SCCP41.8-0-1-0DEV.loads
tftp-server flash:P00303010102.bin
tftp-server flash:P00308000100.bin
tftp-server flash:P00308000100.loads
tftp-server flash:P00308000100.sb2
tftp-server flash:P00308000100.sbn
tftp-server flash:SIP41.8-0-1-0DEV.loads
tftp-server flash:apps41.1-1-0-82dev.sbn
tftp-server flash:cnu41.3-0-1-82dev.sbn
tftp-server flash:cvm41sip.8-0-0-103dev.sbn
tftp-server flash:dsp41.1-1-0-82dev.sbn
```

```
tftp-server flash:jar41sip.8-0-0-103dev.sbn
tftp-server flash:P003-08-1-00.bin
tftp-server flash:P003-08-1-00.sbn
tftp-server flash:POS3-08-1-00.loads
tftp-server flash:P0S3-08-1-00.sb2
tftp-server flash:CP7912080000SIP060111A.sbin
tftp-server flash:CP7912080001SCCP051117A.sbin
tftp-server flash:SCCP70.8-0-1-11S.loads
tftp-server flash:cvm70sccp.8-0-1-13.sbn
tftp-server flash:jar70sccp.8-0-1-13.sbn
tftp-server flash:SIP70.8-0-1-11S.loads
tftp-server flash:apps70.1-1-1-11.sbn
tftp-server flash:cnu70.3-1-1-11.sbn
tftp-server flash:cvm70sip.8-0-1-13.sbn
tftp-server flash:dsp70.1-1-1-11.sbn
tftp-server flash:jar70sip.8-0-1-13.sbn
control-plane
dial-peer voice 2001 voip
preference 2
destination-pattern 1...
session protocol sipv2
session target ipv4:11.1.1.4
dtmf-relay sip-notify
presence
server 11.1.1.4
sccp blf-speed-dial retry-interval 70 limit 20
presence call-list
max-subscription 128
watcher all
allow subscribe
sip-ua
authentication username jack password 021201481F
presence enable
telephony-service
load 7960-7940 P00308000100
load 7941GE SCCP41.8-0-1-0DEV
load 7941 SCCP41.8-0-1-0DEV
load 7961GE SCCP41.8-0-1-0DEV
load 7961 SCCP41.8-0-1-0DEV
load 7971 SCCP70.8-0-1-11S
load 7970 SCCP70.8-0-1-11S
load 7912 CP7912080000SIP060111A.sbin
max-ephones 100
max-dn 300
ip source-address 11.1.1.2 port 2000
url directories http://11.1.1.2/localdirectory
max-conferences 6 gain -6
call-forward pattern .T
transfer-system full-consult
transfer-pattern .T
create cnf-files version-stamp Jan 01 2002 00:00:00
ephone-dn 1 dual-line
number 2001
allow watch
```

```
ephone-dn 2 dual-line
number 2009
allow watch
application default
ephone-dn 3
number 2005
allow watch
ephone-dn 4 dual-line
number 2002
ephone 1
mac-address 0012.7F57.62A5
fastdial 1 1002
blf-speed-dial 1 2101 label "2101"
blf-speed-dial 2 1003 label "1003"
blf-speed-dial 3 2002 label "2002"
type 7960
button 1:1 2:2
ephone 3
mac-address 0015.6247.EF91
blf-speed-dial 2 1003 label "1003"
type 7971
button 1:3 2:4
line con 0
exec-timeout 0 0
password lab
stopbits 1
line aux 0
stopbits 1
line vty 0 4
password lab
login
scheduler allocate 20000 1000
end
```

プレゼンスサービスの機能情報

次の表は、このモジュールで説明されている機能に関するリリース情報を示しています。この表には、特定のソフトウェアリリーストレインで特定の機能のサポートを導入したソフトウェアリリースのみが記載されています。 特に明記されていない限り、そのソフトウェアリリーストレインの後続リリースでもその機能がサポートされます。

Cisco Feature Navigator を使用して、プラットフォームのサポートと Cisco ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索します。 Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn にアクセスしてください。 Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 2: プレゼンスサービスの機能情報

機能名	Cisco Unified CME バージョン	変更
BLFスピードダイヤルの電 話ユーザ インターフェー ス	8.5	電話ユーザインターフェイスを介した BLF スピード ダイヤルのサポートが追加されました。
BLF モニタリング	7.1	• デバイスベースのBLFモニタリングのサポートが追加されました。
		• DnD、コールパーク、ページング、会議機能を備えた ephone-DN の BLF モニタリングのサポートを追加しました。
プレゼンスサービス	4.1	BLF によるプレゼンスが導入されました。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。